

## 地域と育む未来医療人「なごやかモデル」公開シンポジウムに参加しました

平成 27 年 2 月 14 日午後 1 時 30 分より、名古屋市立大学で開催された「地域と育む未来医療人『なごやかモデル』公開シンポジウム」に参加しました。

「なごやかモデル」は、他大学の取り組みと違い、医療系の学生だけではなく、名古屋工業大学、名古屋学院大学と連携し、AIP（エイジング・イン・プレイス）のための街づくりと、そのための人材育成を相互発展的に連動させることを特色としており、大変興味深い事業です。

各大学とも多くの学生が参加しており、今回のシンポジウムでは、課題研究成果ポスター発表会での優秀グループの学生達が代表で発表してくれていました。

シンポジウム自体も、学生はもちろん一般からの参加者も多く、大学・自治体・住民の皆さんが街ぐるみで取り組んでいる様子が見られた事が大変印象的でした。

文部科学省「未来医療研究人育成拠点形成事業」  
地域と育む未来医療人「なごやかモデル」  
公開シンポジウム

なごやかモデル

1. 日 時 平成 27 年 2 月 14 日(日) 13:30 ~ 19:20  
2. 会 場 名古屋学院大学協賛館101号室  
名古屋工業大学キャンパス さくら広場

3. 主 催  
① 主催 名古屋いさつ (13:30~13:50)  
名古屋学院大学 学長 伊 藤 三郎 (専任施設代表者)

② 共催 いさつ (13:30~13:50)  
名古屋学院大学 局長 船越 敬吾 氏

③ シンポジウム(13:50~15:40)  
「なごやかモデル」エイジング・イン・プレイスを支える人づくり  
主 催 名古屋学院大学大学院 医学研究科 教授 伊藤 三郎 氏  
シンポジウム  
④ サークルセミナー(15:50~16:30)  
名古屋工業大学大学院 医学研究科 准教授 藤一雄 (専任施設代表者)

⑤ AIP を支える事業部員人材育成  
名古屋工業大学 専任講師 教授 藤村 聡子 (13:50~14:00)

学生による船越敬吾氏の紹介  
『地域中心型学習』の優秀グループ (14:00~14:25)  
グループE(2)【有内健太郎】：地域実習で獲得する得意中心の編年ノートの特徴と評価  
グループA【藤村聡子】：施設実習での実習  
グループA【藤村聡子】：施設に訪れた患者の観察記録で得た新たな取り組みの可能性  
「なごやか暮らしの発展」 (14:25~14:40)  
名古屋工業大学大学院 医学研究科 専任助教授 藤村 聡子 氏

⑥ 学生の体験参加によるAIPコミュニティづくり (14:40~14:45)  
名古屋工業大学 主幹 伊藤 三郎 氏

—— 休憩 (14:45~15:00) ——

⑦ 地域連携のための連携「福祉推進の推進」  
株式会社 在野活動推進 専 任 藤村 聡子 氏 (15:00~15:20)

⑧ AIP を支える IoT 実用学の導入  
名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授 池田 新 (15:20~15:40)

⑨ 総合討論 親子地域の意見を交えて (15:40~16:10)  
提案発表 1位 伊藤三郎(名古屋学院大学) 2位 伊藤三郎 藤村聡子  
伊藤三郎 藤村聡子

⑩ 終わりに(16:10~16:15)  
名古屋学院大学大学院 医学研究科長 橋本 浩文

地域と育む未来医療人「なごやかモデル」HP <https://nagoya-model.jp/>  
〒467-8601 名古屋学院大学協賛館101号室 TEL. 052-853-3077

※シンポジウムは、協賛委員会からの要請によるものです。

